

**陸上無線通信委員会報告（案） 「気象レーダーの技術的条件」のうち  
「9.7GHz 帯フェーズドアレイ気象レーダー等に関する技術的条件」  
に関する意見募集に対して提出された意見及び陸上無線通信委員会の考え方（案）**

No .	案に対する意見及びその理由【意見提出者名】	陸上無線通信委員会の 考え方（案）	提出意見 を踏まえ た案の修 正の有無
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3 ページの 2 行目「という」は「という。」のほうがよい。同 7 行目の例と同様に。</li> <li>・ 8 5 ページの最下行の 3 行上「以下、」は「以下」のほうがよい。他の箇所の例と同様に。</li> <li>・ 1 4 7 ページの 7 行目「本章では W53 と」は「本章では「W53」と」のほうがよい。</li> <li>・ 9 4 ページの 1 4 行目以降の行間は適正化が必要である。</li> <li>・ 8 7 ページの最下行「4 4」は「4」の誤記ではないか？</li> <li>・ 9 0 ページの最下行の 1 行上「表」はどの表を指すのか？</li> </ul> <p style="text-align: right;">【個人】</p>	ご指摘を踏まえ、報告書（案）を修正いたします。	有

○提出意見数：1 件

※提出意見数は、意見提出者数としています。

新旧対照表

箇所	新	旧
IV 2. 4. 6	X 帯高性能型気象レーダーの以下の諸元に基づき、電波防護指針の適合性を確認する。ひとつの参考値を表 <u>2. 4-4-1</u> に示す。	X 帯高性能型気象レーダーの以下の諸元に基づき、電波防護指針の適合性を確認する。ひとつの参考値を表 <u>2. 4-4-1</u> に示す。
IV 2. 4. 8. 2	<u>表 2. 4-2</u> の条件で測定を行うと、OBW、送信周波数及び搬送波の変調波スペクトルが同時に測定できる。	<u>表</u> の条件で測定を行うと、OBW、送信周波数及び搬送波の変調波スペクトルが同時に測定できる。
IV 5. 1. 1	5250MHz～5350MHz（本章では「 <u>W53</u> 」という。）を利用する無線 LAN は C 帯気象レーダーと周波数が重なる。	5250MHz～5350MHz（本章では <u>W53</u> という。）を利用する無線 LAN は C 帯気象レーダーと周波数が重なる。
字句修正 (各所)	(以下「～」という。)	(以下「～」という)